

長浜統合新校の校訓、教育目標、教育方針について（案）

○ 校 訓

「自彊不息」（じきょうやまず）：休むことなく努力する

→出典「易」：「天行は健なり。君子以て自彊息まず。」による

→教職員、生徒双方に求めることができる校訓。

○ 教育目標

「人格を陶冶し、自立と共生の精神を培い、社会に貢献できる人材を育成する。」

→「人格の陶冶」：教育の普遍的な目標。

→「自立と共生の精神を養う」：主体性と自主性から「自立」へと導く。「自立」を排他的な観点で捉えるのではなく、他者との関わりの中で、グローバル社会の中で、多様な価値観や考え方を認め合い、他者とともに生きていこうとする「共生」の精神と両立させる。

→「社会に貢献できる人材の育成」：最終的には、それぞれの分野で、社会に貢献できる人材を育てる。

○ 教育方針

「自己の可能性を追求し、高い目標に向かって努力する姿勢を育む。」

→校訓の具体化。何事においてもより高い目標に向かって努力し、その姿勢が自己開発につながる。

「自ら学び、考え、判断する力を持つ、自立した学習者を育成する。」

→自主的、主体的な学習態度の育成を目指す。あくまで、基礎基本の習得のあとに期待する学習態度である。

「自らを尊び、他人を思いやり、助け合う心を涵養する。」

→教育目標の中の「人格の陶冶」、「共生」の具体化。自分を大切にすることが他人を大切にすることにもつながり、相互扶助の共生社会を構築する。「自らを尊ぶ」は自分の持っている資質、能力を発見し育てることにもつながる。

「自らを律し、心身ともにたくましい生徒を育成する。」

→はじめのある生活習慣が文武両道を可能にする。

「グローバル社会において、高い志を持ち、主体的に行動できる資質や能力を育む。」

→若者たちの内向き思考、同質化志向、周囲との摩擦や衝突を避け自らを主張できない傾向から脱却し、グローバル社会を舞台にして、相手の意見をしっかりと聴き、自分の意見をはっきり主張できる人材を育てる。県のモデルとなる英語教育を展開する。

「郷土を愛し、伝統・文化を尊び、地域の発展に尽くそうとする態度を育む。」

→グローバルな視点で学んだことを地域の活性化に生かしていく。